

広島県のゆきとどいた教育をすすめる秋のつどい

みんなが安心して過ごせる学校に！

11月11日(土) 14:00~16:00
広島市・東区民文化センター・大会議室

教員の長時間勤務に歯止めをかけ、 豊かな学校教育を実現させるために！

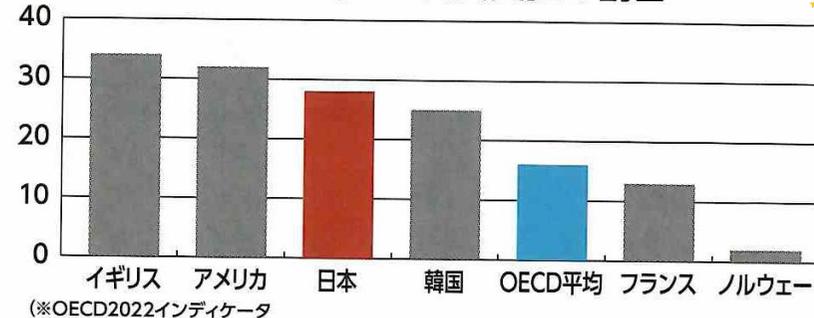
講師：木原成一郎先生（広島大学名誉教授）

大学における教員養成の様子や「学校の業務量にみあった教職員が配置されているのか」という問題などに触れながら、今秋、全国で取り組まれている署名運動、とくに『教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現するための全国署名』の背景や意義についてお話しいただく予定です。

私学も無償に！

私立高校では、2020年度から高等学校等就学支援金が大幅に増額され、年収590万円までが無償化になりました。私学助成運動の大きな成果です。しかし年収590万円以上の世帯への支援が乏しいことは課題です。所得制限を無くして、高校授業料の無償化を進めるときです。

教育費に対する私費負担の割合



公立であっても給食費や教材費、部活動費、制服代など多くのお金がかかります。大学まですべて公立でも800万円かかる試算です

少人数学級の前進を！

少人数学級を求める多くの父母・保護者・地域、団体からの声で義務標準法の改正によって小学校での35人以下学級が前進しました。しかし、35人以下学級は小学校のみであり、実現に数年かかること等、課題があります。中学校、高校への少人数学級実現と広島県独自措置での少人数学級実現を求めています！

主催：広島県ゆきとどいた教育をすすめる会

広島県内の父母、労働組合、民主団体、教職員団体などが、教育条件整備の運動を共同で行うために結成しています。毎年、この「教育全国署名」に取り組むとともに、ゆきとどいた教育を願う県民集会などを開催しています。
事務局：広島市中区富士見町10-13 明賀ビル2F ■公立関係(082)264-7850 ■私学関係(082)569-7759